

## 「個別の指導計画」記入例16

総合支援学校に在籍する、重複障害のある小学部1年生の記入例です。

自立活動を主として指導を行う教育課程を編成しています。

学年・組	小学部 1年 組	校長氏名印	担任氏名印	期間
氏名				平成 年 4月 ~ 平成 年 3月

教育支援計画 長期目標 (概ね3年間)	健康面、情緒面で安定した生活を送る。 手・足・声で人や物に主体的にかかわる。	教育支援計画 重点目標 (概ね1年間)	筋緊張のコントロールを図り、側わんの進行を予防するとともに、スムーズな排泄を行うことができる。 背中に力を入れて、座位を保持するとともに、手指の操作性を向上することができる。
---------------------------	---	---------------------------	--

教科等	児童生徒の様子	年間指導目標
教 科 指 導 領 域 自 立 等 活 動	<p>&lt;朝の会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自宅から自家用車で登校する。</li> <li>あいさつに対し、表情の変化や発声で応える。</li> <li>歌を聴き手を動かしたり、声を出したりする。</li> </ul> <p>&lt;排泄&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2時間の定時排泄。1回の排尿量は少ない。</li> <li>股関節が開きにくく、全身が反り返りやすいので後方から介助されて便器に座る。</li> <li>全身に力を入れたり、口をすぼめたり、「アー」「ーン」と言ったりして尿意を表す。</li> </ul> <p>&lt;食事&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スプーンに対し頭を起こしてすることがある。</li> <li>欲しい物に対しては、上体を伸び上がらせる。</li> <li>咀嚼はできるが、十分ではない。</li> <li>水分はむせやすく、口からこぼれやすい。</li> <li>机の上の物を右手で払ったり、右手指ではさむようにしたりして下に落とす。</li> </ul> <p>&lt;健康&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>背骨に変形が見られる。(左凸)</li> <li>便秘になりやすい。</li> <li>夜、何度も目を覚ますことがある。</li> </ul> <p>&lt;コミュニケーション&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>声かけに「ハイ」「アー」等と応えることがある。</li> <li>快の状態では、笑顔や発声(「キャー」)手足を盛んに動かすことなどで感情を表現する。</li> <li>パターン化された活動では、次に起こることを期待(予測)する。</li> <li>ニコリでYes、口をすぼめることでNoを示すが、目や手による意思表示は少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>心身ともにリラックスする。</li> <li>1日の始まりを意識する。</li> <li>スキンシップで担当教員とのコミュニケーションを深める。</li> <li>リラックスして座り、排尿する。</li> <li>トイレの場面を利用して、意思表示を促す。(Yes-Noのサイン)</li> <li>上体を起こして食べる。</li> <li>しっかりかむ。</li> <li>上唇で食べ物を取り込み、こぼさずに飲む。</li> <li>右手を使って食べる。</li> <li>変形を予防する。</li> <li>活動量を増やすことにより、十分な睡眠及び便秘の解消を図る。</li> <li>要求を伝える発声、身振り、手の動き等がより活発になるようにする。</li> <li>気になる人や物を見つめることにより、意思を周囲の人間に伝えようとする事ができる。</li> <li>Yes-Noのサインがより明確になるようにする。</li> </ul>
	<p>&lt;課題学習&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手指の動きは硬く、伸ばした親指と中指ではさむようにして物を持つ。握る力は不十分。</li> <li>右手を操作に使うが、手前に引く動きが多く、押し出す動きは少ない。</li> <li>「 する?」「 見える?」という言葉かけに対して、視線を向けることがある。</li> </ul> <p>&lt;運動-動作&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仰臥位から側臥位は可能(左腕が抜けにくい)。</li> <li>肘関節、足首や股関節の屈曲に抵抗がある。</li> <li>全身を大きく反らせるため座位が難しい。</li> </ul> <p>&lt;感覚-運動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>仰臥位からの引き起こしでは、頭を起こし、数秒間保持できる。</li> <li>揺れ刺激に対して、両脚をばたつかせたり、指をくわえたり、声を出して喜んだりする。</li> <li>後方から介助されての立位では、足裏全体が床に着きにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>手を伸ばす、握る、放すなどの手指の操作性の向上を図る。</li> <li>教材に取組む過程で、姿勢の保持や変換を促す。</li> <li>文字を記号として操作するための基礎(形の弁別)を理解する。</li> <li>頭部コントロールの向上を図る。</li> <li>あぐら座位で背中に力を入れて上体を保持する。</li> <li>緊張を抑制しながら体の各部位を動かす。</li> </ul>
	<p>遊びの指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな(絵)本があり、よく見たり聞いたりする。ページをめくるのをよく見ている。</li> <li>パターン化された活動では、次に起こることを予測し、期待したり、緊張したりする。</li> <li>援助されながら、興味のある物に手を伸ばそうとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リズムに合わせて身体を動かしたり、音楽を楽しんだりする力を育てる。</li> <li>見る力、聞く力、「もっとやりたい」という意欲や要求を育てる。</li> <li>外界に働きかける手、目の前のものを触ろうとする手を育てる。</li> </ul>
	<p>道徳特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好きな本を見たり、音楽を聞いたりすることに集中することができる。</li> <li>家族の声に笑顔で応えることができる。</li> <li>友達の動き(活動)を意識していることが多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分がやらなければならない課題に、しっかりと取り組むことができる。</li> <li>家族や担任、友達に顔を向けたり、発声や手の動きで働きかけることができる。</li> <li>好きなものを増やし、友達とかかわる力を育てる。</li> </ul>

学年・組		小学部1年組			氏名								
教科等	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
教 指 導 科 領 域 活 動	日 常	<p>&lt;朝の会&gt;            登校後のリラクゼーション  ふれあいタイム            健康観察  朝の歌とあいさつ(名前と返事)            天気調べ  献立の発表            先生の話(今日の予定、先生、友達)            朝の体操  おわりのあいさつ</p>											
	生	<p>&lt;排泄&gt;            排尿時の観察(サインの読み取り)  (写真や絵カードによる意思表示)            排尿時の座位(後方からの援助)  (側面からの援助)            排尿間隔の拡大(2時間の定時排尿)  (3時間の定時排尿)</p>											
	活	<p>&lt;食事&gt;            上体を起こして食べる。  右手を使って食べる。            口唇を使って食べ物をとりこむ。  しっかりかむ  こぼさずに飲む            食べたい物を選択する。</p>											
	の	<p>&lt;健康&gt;            変形の予防を図る。            活動量を増やす。            体調を整えさせる。(水分補給、薄着、便秘の解消)</p>											
	指	<p>&lt;コミュニケーション&gt;            意思表示(発声、表情)  (手を動かす、写真や絵カードを見る)            指示理解(写真と活動の結びつけ)</p>											
	導	<p>排泄、食事、健康、コミュニケーションに関する内容は、特に自立活動との関連を図りながら、学校生活全体で指導する。</p>											
	科	<p>&lt;課題学習&gt;            操作的空間形成学習：仰臥位・側臥位・伏臥位・介助(あぐら、ベンチ)座位で行う。            手指のコントロール：手指、手首、肘への働きかけ            足のコントロール：足指、足首、かかと、足裏、膝への働きかけ            姿勢の調整：頭部、手、足、腰、背中等            概念形成学習：写真や絵カードによる弁別及び分類(見ることによる選択を中心に)            基本図形のはめ板(滑らせてはめる)            宝箱(宝探し)</p>											
	領	<p>&lt;運動・動作&gt;            身体各部位のリラクゼーション            ・足、膝、股、手、手指、肘、肩、頸の緩め  ・脚、足首の曲げ伸ばし            ・腕の前方拳上と曲げ伸ばし  ・体幹の反らしとひねり            頭部コントロールの向上            ・仰臥位から両腕を引かれての頭の引き起こし  ・肘立て位、介助座位からのヘッドアップ            ・ヘッドアップした頭のコントロール  ・介助されながらの寝返り</p>											
	域	<p>&lt;感覚・運動&gt;            ロールマット(伏臥位)  (またがり)  (ローリング)            トランポリン(仰臥位や伏臥位、肘立て位)  (介助座位、寝返り)  (立位)            毛布ハンモック(前後左右上下のゆれ)  毛布や傾斜台(寝返り)            スクーターボード・バランスボード(仰臥位や伏臥位)  (介助座位)</p>											
	活	<p>遊びの指導</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:33%; vertical-align: top;">「ゴロゴロドンドンかみなりどん」 劇遊び</td> <td style="width:33%; vertical-align: top;">「しずくのぼうけん」 ダンス  「宇宙船にのって」 ブラクシアター</td> <td style="width:33%; vertical-align: top;">「ノタンボールまてまて」 影絵遊び</td> </tr> </table>										「ゴロゴロドンドンかみなりどん」 劇遊び	「しずくのぼうけん」 ダンス  「宇宙船にのって」 ブラクシアター
「ゴロゴロドンドンかみなりどん」 劇遊び	「しずくのぼうけん」 ダンス  「宇宙船にのって」 ブラクシアター	「ノタンボールまてまて」 影絵遊び											
等	<p>道徳</p> <p>主として自分自身に関すること            ・提示された課題にしっかりと取り組む。            主として他の人とのかかわりに関すること            ・家族、担任、学級内の友達に、手や足の動き、発声等で積極的に働きかける。            主として自然とのかかわりに関すること            ・身近な自然に親しむ。</p>												
動	<p>特別活動</p> <p>ゲーム            ボーリングゲーム、カードゲーム等            調理活動(触覚的な働きかけ)            ホットケーキ、かき氷、クッキー等            感触遊び・音遊び・造形等</p>												
	<p>学級活動において、～を月1回程度実施し、残りの時間は季節や学校行事等と関連した内容を設定する。</p>												

